

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月11日

計画の名称	四万十町志和地区における南海トラフ巨大地震等による大規模災害に備えた災害に強い地域づくりの推進（重点）（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成32年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	四万十町												
計画の目標	四万十町志和地区は、近い将来発生が予測される「南海トラフ地震」の被害想定において、低地の大部分が津波浸水エリアとなっており、甚大な被害が予測されている津波災害への早急な対応が求められている。 本計画では、避難場所や避難経路を整備することにより、高齢者の多い本地区の避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	173	A	148	B	0	C	25	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	14.45	%

番号	計画的成果目標（定量的指標）	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成29年度当初	平成30年度末	平成32年度末
1	津波に対する避難困難地域を解消する。 津波避難困難者の解消率（志和地区 254人）	82%	92%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	四万十町	直接	四万十町	-	-	都市防災総合推進事業(志和)	避難広場 N=1箇所、避難経路(町道改良) N=2路線	四万十町						148	-	
											小計						148		
											合計						148		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	施設整備	一般	四万十町	直接	四万十町	-	-	災害に強いまちづくり事業	避難誘導灯の設置 N=11基	四万十町						25	-	
		基幹事業と一体的に実施し、迅速で安全な避難ができる。																	
											小計						25		
											合計						25		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 四万十町総合振興計画審議会委員にて外部評価	事後評価の実施時期 令和4年5月
	公表の方法 四万十町ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	津波に対する避難困難地域を解消できた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>今後は、避難訓練等を継続して行い、また、故障や経年劣化に伴う修繕等が見込まれるため、四万十町地域避難施設等整備事業補助金などの支援を行いながら避難時に必要な施設、設備等の環境整備を引き続き行い、維持する。</p>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	津波避難困難者の解消率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%